

# 本との出会い

特集／人生を、世界を広げてくれる

ひろしま図書館まつり・子ども読書まつり **日** 10/17(土)~11/15(日) **場** 市立図書館13館・室、映像文化ライブラリー、県立図書館

## 福ブックセットって何?

昨年の図書館まつりで大好評だった「福ブックセット」。各書館・室では、今年も、お薦め本を数冊分詰め合わせたセット貸し出しを行います。どんな本が入っているのかは、開けてからのお楽しみ!



※福ブックセットの中身は大体の場合見えませんが、館・室によっては見えるものもあります

市立図書館13館・室の担当者が工夫をこらした「福ブックセット」(世代別、内容はさまざま)を用意しています。今回は、6人の司書・担当者が本の専門家として、お薦めの1冊を紹介してくれました。

フィクションなのに臨場感たっぷり一気読みます!



「大地の子(一)」山崎豊子/著 文春文庫

太平洋戦争後に中国に残された孤児が主人公の小説です。作者の徹底した現地取材をもとに書かれた文章は、何度読んでも引き込まれます。読み応えのある長編に挑戦してみませんか。

元はWEB漫画。次々読みたくなる人気の漫画です



スパイファミリー「SPYxFAMILY」(5) 遠藤達哉/集英社

秘密を持っている偽の家族が織りなすハラハラドキドキのストーリー。偽だけど温かな家族の物語です。このコミック同様、まんが図書館には幅広い年代に人気の漫画がそろっています。

表紙に引かれて本を選んでも面白いですよ



「世界の美しいこの」保坂健太郎/監修 PIE International

推理小説が好きですが、表紙に魅せられ手に取って「こんなかわいいこのがあるんだ!」と今ではすっかりファンに。興味がないと思う本でも、意外とはまってしまいかもかもしれませんよ。



読み聞かせにもお薦めの1冊です



「こすずめのぼうげん」ルース・エインズワース/作 石井桃子/訳 堀内誠一/画 福音館書店

初めて飛ぶことを習ったこすずめの冒険の物語です。初めてはドキドキがいっぱい。こすずめの心情が伝わる繊細な絵も印象的な温まる絵本です。



子どもを知ることができる1冊です



「子どもへのまなざし」佐々木正美/著 山崎百合子/絵 福音館書店

子どものことを児童精神科医がやさしく解説。子育て中の人に限らず、さまざまな年代の人にお薦め! 子どものことを知って、社会全体で見守りたいですね。



約60年。世代を超えて読み継がれている絵本です



「きかんしゃやえもん」阿部冬彦/文 阿部冬彦/絵 岩波書店

昔読んだ絵本を大人になって読み返すと、子どもの時と違う感覚で新たな発見をすることも。あまり知られていませんが、文は阿川弘之です。意識して読むと味わい深いですよ。

## 催し

各館で独自のイベントを開催 図書館まつりの統一テーマは「図書館で発見!」。期間中は、本に親しむことを目的に、趣味や教養を深める各種講座や映画会など、各館の特色を生かしたさまざまな催しを開催します。

本紙 8ページのガイドでイベントを一部紹介しています。

ひろしま図書館まつり **検索**

子ども読書まつりは、ホームページからも参加できます! 同時開催の子ども読書まつり

では、期間中、市立図書館ホームページで、クイズやお薦めの本を紹介。自宅でも楽しめます。 **クイズに挑戦!** ●「ほんだいきずクイズ」、「まんがだいきずクイズ」、「しっとる? ひろしまクイズ」を掲載。

どびっきりの一冊を探そう! ●年齢別にいろいろなテーマでお薦めの本を掲載。興味のあるテーマから好きな本を見つけましょう。 **ファミリー** 図5-Days 子育て図書館(☎221-6755、☎222-7020)

## 図書館活用術

自宅などでパソコン、スマートフォンを使い、図書館の「My ライブラリ」サービス(インターネットサービス)を利用することができます。コロナ禍の現在、特にお薦めの便利なサービスをご紹介します。



### ネットで検索・予約!

パスワードを登録すれば、「この本を読みたい!」と思ったとき、自宅などでパソコンやスマートフォンを利用して検索・予約・貸し出し状況の確認などができます。その他にも、便利なインターネットサービスがあります(下記)。



■貸し出し履歴の保存 今月から、借りた本の履歴を最大1,000冊まで保存できるようになりました。読書の記録などにご活用ください。

■新着図書お知らせサービス 興味のある条件を登録しておく、直近1週間に入った新着本のうち条件に合ったものを、毎週金曜日メールでお知らせします。

■「My 本棚」(ブックリスト)の作成 これから読みたいと思った本や今まで読んだもので記録に残しておきたいと思った本などを「読みたい本」、「読んだ本」など自分で名前を付けた仮想の本棚に保存できます。インターネットサービス内で利用することができ、「本棚」から直接「予約かご」へ入れることもできます。

■返却はどの図書館でも 返却は13図書館・室のどこでも可能です。市内に71ある公民館、市立大学図書館、イオン広島祇園店、福屋広島駅前店でも返却可能です。 ※公民館の図書回収は月2回程度です。返却処理終了までに日数を要する場合があります。巡回日程は各公民館でご確認を。市立大学での図書回収は毎週木曜日です

### 近くでも借りられます

移動図書館車「ともはと号」が、図書館から遠い地域など17カ所を巡回しています。また、市内に71ある公民館の図書室(各館約2,000冊所蔵)でも本を借りることができます。

## 利用法と開館時間

■貸出利用券を作りますよ 市内にお住まいの人、通勤・通学している人は、誰でも作ることができます。貸出利用券の申し込みには、住所・氏名が確認できるもの(マイナンバーカード、免許証、保険証、学生証など)が必要です。

10冊まで2週間借りることができ、パスワードを登録すると、予約などに利用できます。 **【開館時間】** ●中央図書館、区図書館 火~金曜日/午前9時~午後7時 土・日曜日、祝・休日、8月6日/午

前9時~午後5時 中央図書館のみ/7、8月の土・日曜日、祝・休日、8月6日は午前9時~午後6時 ●子ども図書館 午前9時~午後5時 ●佐伯区図書館湯来河野閲覧室 火~金曜日/午前9時~午後6時 土・日曜日、祝・休日、

8月6日/午前10時~午後5時 ●まんが図書館(あさ閲覧室を含む) 午前10時~午後5時 **【休館日】** 毎週月曜日(祝・休日、8月6日の場合は開館)、祝・休日の翌日(土・日・月曜日、祝・休日の場合は、その直後の平日)※

## 阿川弘之展

今年、広島市名誉市民である作家・阿川弘之の生誕100年にあたります。中央図書館の広島文学資料室\*の対象作家でもある同氏の生誕100年を記念して企画展を開催します。

\*昭和62(1987)年に開室した広島にゆかりのある文学者の資料を収集・公開する資料室

### 企画展「生誕100年 阿川弘之展」

阿川弘之は、『雲の墓標』『山本五十六』などの小説やユーモアあふれるエッセイ、絵本『きかんしゃ やえもん』などの作品で幅広い読者に親しまれています。 企画展では、代表的な作品を中心に、著書や掲載誌、自筆資料などを展示。作品と重ねながら、その作家像を紹介します。郷土ゆかりの作家とその文学に触れてみませんか。 **【期間】** 10月31日(土)~来年1月11日(祝) **【時間】** 火~金曜日の午前9時~午後7時、土・日曜日、祝・休日の午前9時~午後5時 中央図書館2階展示ホール **【入場料】** 無料(11月23日、1月11日は開館)、年末年始(12月29日(火)~1月5日(火))、11月4日(火)、24日(火)、27日(金)

### 講演会「阿川弘之さんと広島ゆかりの作家たち」

講師の高橋一清氏(文藝春秋社友・「湖都松江」編集長)が、編集者として接した、阿川弘之をはじめとする作家たちの人柄や作品の魅力について語ります。 **日** 11月22日(日)午前10時~正午 中央図書館3階セミナー室 **日** 11月1日(日)午前9時から、来館か電話、ファクスで必要事項(6ページ参照)を同館へ。市立図書館ホームページの専用フォームからも申し込み可。先着30人 ※手話通訳・要約筆記が必要な人は、11月6日(金)までにお申し込みください



阿川弘之 (大正9(1920)年12月24日~平成27(2015)年8月3日)

広島市白鳥九軒町(現中区)生まれ。広島高等師範学校附属中学校(現広島大学附属高等学校)、旧制広島高等学校(現広島大学)を経て、東京帝国大学(現東京大学)国文学科へ進む。繰り上げ卒業後、予備生として海軍入隊し、敗戦を中国の漢口(現武漢市)で迎えた。復員後、志賀直哉に師事し、文筆生活に入る。昭和27(1952)年に刊行した『春の城』で読売文学賞を受賞、作家としての地位を確立した。以後、『魔の遺産』『雲の墓標』『山本五十六』『井上成美』など、多くの作品を発表した。評伝『志賀直哉』で毎日出版文化賞、野間文芸賞を受賞。平成11(1999)年文化勲章受章。広島市名誉市民、広島県名誉県民。